

ムラサキシタバ

Catocala fraxini

兵庫県：要注目

環境省：－

種の概要

開張90～105mm程度。前翅は一様に灰黒褐色で斑紋は不明瞭であるが、白化が著しい個体から黒化が著しい個体まで変異がある。後翅は黒褐色で、中央部に青色の帯を有する。後翅縁毛は白色。山地に生息し、幼虫はヤマナラシなどを食べる。年1化性で、成虫は8月～10月まで見られる。



写真提供：高島昭

国内分布

北海道、本州、四国、対馬

県内分布記録

西脇市、神河町、宍粟市、香美町、新温泉町、養父市、朝来市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
					○

特記事項

温帯林に生息。優れた自然環境の指標種

保護上の留意点